

喜界町

図書館だより

2月号



【通算 第296号】

2021（令和3）年2月1日発行

〒891-6201

喜界町大字赤連字樋口前30番地

TEL：0997-65-0962

FAX：0997-65-2523

e-mail:info@kikai-lib.jp

ブックスタート
図書館からのプレゼント!
(コットンバッグ・絵本)



赤ちゃんと保護者が、絵本を介して一時の心の触れ合いをつかむ、きっかけづくりのお手伝いをしています。

★（受け取りは0歳児のみ。ブックスタートの文書が届いたのち、図書館にご来館ください。）

砂糖製造のはじまり

まだまだ寒い日が続きますが、サトウキビの刈り取りも最盛期を迎え、島全体が活気づいてきました。

わが国で、はじめて砂糖が製造されたのは慶長年間で、奄美大島がその発祥の地だそうです。即ち、慶長14年（1609年）大島大和浜の直川智（すなおかわち）という人が、琉球に渡ろうとして途中暴風に遭い明国に漂着しました。彼は、そこでサトウキビの栽培方法と製糖法を習得し、帰国の際にその苗を持ち帰ってこれを大和浜で栽培し、これから黒糖100斤（60kg）を得たというのがわが国の製糖の最初で、琉球に先立つこと13年だったそうです。その後まもなく、この栽培方法と製糖法は喜界島や徳之島にも伝わったと言われています。

この奄美の砂糖が、江戸時代末期には“砂糖地獄”と呼ばれるほど奄美の人々を苦しめることとなりますが、当時とても高価だった奄美の砂糖で財政が潤った薩摩藩は強力な軍備を整え、やがて明治維新へと突き進んでいきます。こうして、間接的であったにせよ、奄美の先人たちが日本の歴史を動かしたかと思うととても誇らしい気持ちにもなります。

引用・参考図書： 竹内譲著「趣味の喜界島」 大江修造著「明治維新のカギは奄美の砂糖にあり」

大満足「ぬいぐるみおとまり会」

12月5日（土）のクリスマスおはなし会の後に、図書館でぬいぐるみがおとまりをするイベントがありました。小学3年生までを対象に募集したところ7組の応募がありました。ぬいぐるみたちは、みんなでおとまりをして、本の貸出をしたり自分の好きな本を読んだりし、今年はぬいぐるみが選んだ本の貸出も行いました。



盛り上がった「年始めイベント」

1月9日（土）に恒例のお正月おはなし会を行い、親子で8名の参加がありました。おはなし会では、お正月にちなんだ絵本の読み聞かせやお正月の遊びの紹介をしたあと、みんなで福笑いをしてとても盛り上がりました。

また、1月5日からはじめたことばくじや福袋本の貸出、絵馬の願掛けなどで多くの人が正月らしさを味わっていました。



おしらせ

本は期間内に返却しましょう！

募集中！

読み聞かせボランティアを募集しています。興味のある方は、図書館へ連絡ください。

古本市の開催について

新型コロナウイルス感染防止のため延期いたしました古本市を、下記の通り開催いたします。

古本市では、購読雑誌のバックナンバーや廃棄済み図書など多くの古本を準備しており、1冊20円または無料でお一人様何冊でも購入できます。

記

- 期日：2月5日（金）～2月7日（日）
- 時間：10：00～18：00
- 場所：喜界町図書館1階フロア

※今回は、エコの観点から持ち帰りの袋は用意致しませんので、購入される方はマイバックをご持参ください。併せて、できるだけお釣りのいらぬよう小銭をご準備ください。

お疲れ様！職場体験学習

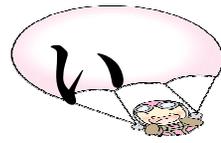
喜界高校2年の榎野優誠さんが、12月15日から12月18日まで喜界町図書館で職場体験学習を行いました。期間中、本の配架やカウンター業務をはじめ新刊のブックコーティング、絵本の読み聞かせ、おすすめの本の紹介パネルの作成などを一生懸命頑張っていました。優誠さん、4日間お疲れ様でした。下はカウンター業務と絵本の読み聞かせの様子です。





《おとなの本》

- ★『お探し物は図書室まで』青山美智子 著 ポプラ社
悩める人々が立ち寄った小さな図書室。無愛想だけど聞き上手な司書さんが、思いもよらない選書と可愛い付録で人生を後押ししてくれて…。明日への活力が満ちてくるハートウォーミング小説。
- ★『攫(さら)い鬼』輪渡颯介 著 講談社
怪談を聞かせるか“怖い場所”に行くと無代になる妖しい飯屋「古狸」に通う虎太。「うちの子を探して」と告げる女の幽霊が出る場所に泊まり込んだ虎太は、「しんきち」という子どもを探すことになり…。
- ★『脳の取扱説明書』井上慎介 著 エム・アイ・エコー・ポリューション
歴代アメリカ大統領や著名人、スポーツ選手も実践する最強メンタルコントロール術を紹介。脳の仕組みを活用して不安やストレスを解消する「NLP」の考え方やテクニックスキルを事例を交えながら解説する。
- ★『冬の狩人』大沢在昌 著 幻冬舎
- ★『息子がいじめの加害者に?』大原由軌子著 文藝春秋
- ★『ハラスメントを行動科学で考えてみました』
石寄信憲 編著 小宮純季 著 中央経済社



《こどもの本》

- ★『ねこの町の小学校』小手鞠るい作 くまあやこ絵 講談社
ねこの町の小学校の子どもたちが犬の村にえんそくに。楽しい山登りのあとは、犬の村のお野菜畑でしゅうかくのおてつだい。それからおいしい野菜をみんなで…。
- ★『スーパー恋ものがたり』
魚戸おさむ絵 三遊亭白鳥作 講談社
恋をするとうふのジョニーとクリームチーズのマーガレット。しかし、とうふ一家とチーズファミリーは、売り場をめぐるケンカをしていて…。落語家とマンガ家がつくったふしぎなおはなし絵本。
- ★『こたつ』麻生知子 作 福音館書店
こたつを真上から描く、ユニークな絵本。おせち料理の準備をしたり、年賀状を書いたり、年越しそばを食べたり…。こうたくん一家のおおみそかを定点観測しながら、家族で新年を迎える喜びを描きます。
- ★『あしたのことば』森絵都 著 小峰書店
- ★『タヌキとキツネ冬のおはなし』アタモト著 70年代ワークス
- ★『かわいい! どうぶつパーク』いしかわこうじ作 童心社



12月の貸出ベストリーダー3



一般書		児童書		雑誌	
1	食王 榎 周平 /著 滅びの前のシャングリラ 風良 ゆう /著	1	メリークリスマス、ベネロベ! 絵本 アレルギーのサバイバル2 自然科学 アンパンマンとくろいとり 絵本	1	NHKすてきにハンドメイド 10月号 週刊文春 12月17日号 文藝春秋 10月号 こどものとも0. 1. 2 12月号
3	江戸染まぬ 青山 文平 /著 かきあげ家族 中島 たい子 /著 日没 桐野 夏生 /著 アルルカンと道化師 池井戸 潤 /著	2	おぼけのアッチとコロケとうさん 読み物 恐竜キングダム 10 自然科学 ギョギョギョつり 絵本		

2月

日	月	火	水	木	金	土
1/31	1	2	3	4	5	6
蔵書点検・整理休館				資料 休館日	古本市・ブックスタートおはなし会	古本市・おはなし会
7	8	9	10	11	12	13
古本市	休館日			団体貸出 (各効・各保・てくてく・子支援・早小学童)		おはなし会
14	15	16	17	18	19	20
	休館日		移動図書 (早町小学校 1~3年)	移動図書 (早町小学校 4~6年)	子育て支援来館	おはなし会
21	22	23	24	25	26	27
	休館日					おはなし会
28	3/1	3/2	3/3	3/4	3/5	3/6
	休館日					おはなし会

※ は、休館日です
《毎週月曜日・第1木曜日(祝日の時は翌日)》
・開館時間 午前10時~午後6時

12月統計 (23日)	貸出冊数	令和2年度合計
	2,667 冊	29,517 冊
	来館者数	令和2年度合計
	854 名	6,542 名

おはなし会・ミニ映画

図書館2階で
毎週土曜日 午後2時~2時40分

★おともだちどうし、おさそい合わせのうえ、お気軽にご参加ください。

